



2021年度
新設

GLOBAL INNOVATION CLASS

グローバルイノベーションクラス

高校新クラス
GUIDE BOOK
2024



聖学院 中学校
高等学校

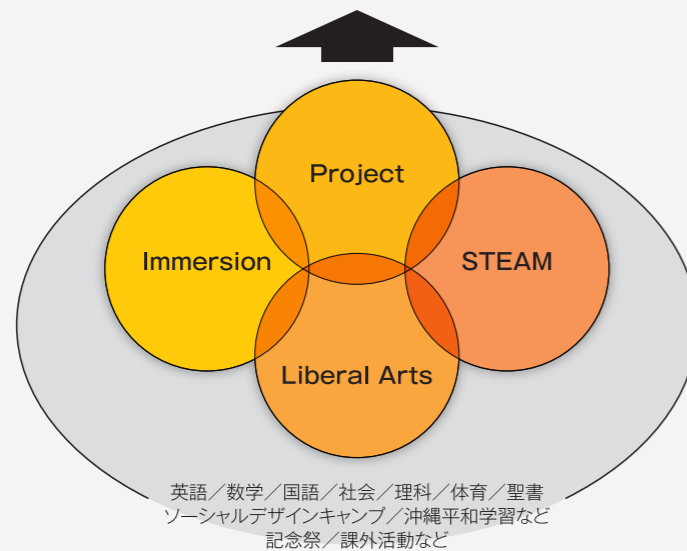
GLOBAL INNOVATION CLASS

「ものづくり」「ことづくり」を通して 世界に貢献できる人を育てるクラス

本校では、これまで探究型教育を、授業・宿泊行事・海外研修等の中に数多く取り入れてまいりました。そのような中で、世界に対して「ものづくり」「ことづくり」を通して貢献できるグローバルリーダーを育成するため、高校新クラスを新設しました。それが「Global Innovation Class」です。グローバル課題やSDGsを自分事として理解し、高次の研究力・協働力・創造力を育成するために、「Immersion」「STEAM」「Project」の3つを柱にした教育を展開しています。また3本柱の土台として、一般教科および「Liberal Arts」を行います。特に「Liberal Arts」では、ロジカルシンキング・クリティカルシンキングなどの力を身につけます。以上のプロセスを経て、世界的な課題を自分事としてとらえ、「ものづくり」「ことづくり」を通して課題解決～価値創造できる人財を育てます。これは本校の教育理念「Only One for Others」を真に具現化できる人財の育成であり、本校次世代教育の象徴的なクラスになると確信しています。

【生徒の育成像】

世界的な課題に対して自分事として取り組める
「ものづくり」「ことづくり」を通して、他者や世界に貢献できる
海外大学進学や海外留学等、世界を視野に入れて学ぶことができる



聖学院の英語授業では「SSコース」を設置（週6時間）

同コースでは、ネイティブ教員によるオールイングリッシュの授業にて、英語でのプレゼンテーション、英字新聞の多読、エッセイの練習などを行っています。英字新聞などを使い、「ソーシャルイシュー」（社会問題）に触れながら、そこで用いられている実践的な単語や表現方法を学びます。次に自分の考えをまとめて意見を述べたり、ディスカッションしたりします。ソーシャルイシューを取り入れることで、内容の濃い議論ができ、単に英語の表現を学ぶことにとどまらない充実した授業となっています。

※英語は習熟度別授業となっており、SSコース、Sコース、Aコース、Bコースの4コースで展開。
SSコースは英検2級以上のコースです。

●2023年度 高校1年生 GICの時間割例

	月	火	水	木	金	土
1	物理基礎	英語C	数学A	体育	歴史総合	STEAM 情報
2	英語C	英語論理表現	数学A	言語文化	数学I	
3	言語文化	保健	英語論理表現	数学I	体育	Project
4	聖書	英語C	数学I	英語C	物理基礎	
5	Immersion SDGs	STEAM 美術	歴史総合	Liberal Arts	STEAM Science	
6			LHR			
7			Immersion Competency			

Liberal Arts（週2時間）

自己自身の在り方を考えたり、身近な／遠くの他者と主語を一つにして既存の課題を考えたりします。そのためには、まず「これまで身につけてきたもの」つまり、自分の拠り立つシステムや制度、思考やものの見方を客観視し、相対化する必要があります。GIC独自科目の基幹であるLiberal Artsでは、そうした自分から一度「自由=Liberal」になり、次の時代を構想する諸技術や「感性=Arts」を養います。対話（dialogue）をベースに、さまざまなテキストや諸問題を多様な視点や思考の仕方でも読み解き、文字から映像まで多様なメディアを駆使した思考のアウトプットを重ねながら、「私たちはどう在るか」を描き出す方法を修得します。

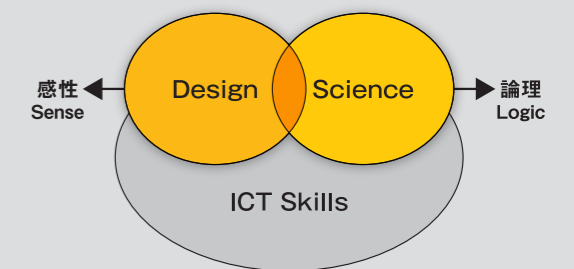
Immersion（週3時間）

SDGsを英語で学ぶ授業です。公共・家庭科などの内容を中心に、SDGsを英語で学び、英語でディスカッション・プレゼンテーションをします。そのために必要なグローバルスキルも英語で習得します。異文化におけるコミュニケーション、社会課題に対して英語で議論し、シンキング・ストラテジーやリーダーシップなど6つの重要なスキル・マインドを「英語で」習得するプログラムです。ディスカッション、アクティビティ、プロジェクト、発表を通して、生徒中心の学びを形成します。週6時間の英語授業とは別に週3時間「Immersion」を英語で学ぶため、社会とつなぐツールとしての英語力が身につきます。



STEAM（週6時間）

STEAMとは、「科学」「技術」「工学」「芸術」「数学」の5つの頭文字を組み合わせたもので、情報の抽出・分類・比較するスキルや、課題発見・解決に向けた創造・表現のスキルを育てる教育プログラムです。「サイエンス」「デザイン」を軸にICT Skillsを活用しながら「ものづくり」「ことづくり」に必要なツールを学び、論理と感性の両面を大切に創造力を育成します。週6時間の授業は全て探究型授業で構成され、課題解決・価値創造のための問いからスタートします。必要性を感じて知識や思考スキルを習得していきます。



Project（週2時間）

ゼミ形式の授業で、国際系・社会系・環境系などのテーマから自分で選びます。その中で、自ら課題を設定し、その課題解決に向けて学内外で連携し、協働・研究活動を行います。その成果発表に向けた準備のための「Project Week」を設定します。「Project」はGlobal Innovation Classの集大成となる時間です。

●プロジェクト科の構成

高1	Project①	Project week①	Reflection①
高2	Project②	Project week②	Reflection②
高3	探究論文		



Teacher's view

Global Innovation Class の今後の展望



高校新クラス設置統括長・総務統括部長
日野田 昌士

高校Global Innovation Classは「ものづくり・ことづくりを通して世界に貢献する」をコンセプトとしており、独自科目「Immersion」「STEAM」「Project」「Liberal Arts」の4つを中心に展開しています。現在、世界では様々な問題が起こっており、地球環境や世界平和を守ることが急務となっています。また、日本国内では少子高齢化がすすみ、経済停滞・地方消滅など、課題先進国として解決しなくてはならないことが山積みとなっています。そのような課題を解決し、明るい未来の世界をつかっていく主役は今の若者たちです。これからの世界を制作していく若者たちにとって、かけがえのない原体験を提供し、世界の現場で生き抜いていくためのグローバルマインドやスキルを身につけるための教育を行っています。また、ものづくり・ことづくりに必要なスキルやツールを学び、世界の誰かに貢献できる優しい自立した挑戦者を育成するために、数多くの教育機会や教育環境を整えています。実際の高校GICの生徒プロジェクトでは、北区志茂四丁目の町会と連携し、オンライン防災ワークショップを実施し、高齢者のための防災啓蒙活動を行っている生徒がいたり、様々な社会貢献プロジェクトが生み出されています。

STEAM

STEAM 教育の授業の紹介



色の三原色

「そもそも色彩とは何か?」という視覚効果を問うことから始まるSTEAM授業。色や光の三原色といった色彩学を学びながら絵具の混色や赤青緑のライトを混ぜる実証実験を行います。色を知る過程で「卵テンペラ」という技法を用いて絵具そのものを作ったり、色の素となる顔料粉末を作る実験も行います。色自体の持つリアルな豊かさや鮮やかさを手と目、肌で実感することを通して新しい価値観やヒラメキを見出し、ものづくりの原点を体験します。その後、美術×理科×情報の3教科横断的のワークに移行していきます。



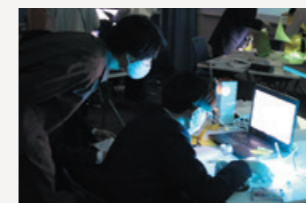
色の感覚ストレッチ

色に関する気づきを促すデイリーワーク。色彩のイメージや視点を体現するために各自「色」を写真で集め、かたちに起こします。普段とは異なる角度や側面から見ることで、気づかなかった物事の本質や仕組みを捉えることを追究し、レポート作成と発表を実施します。



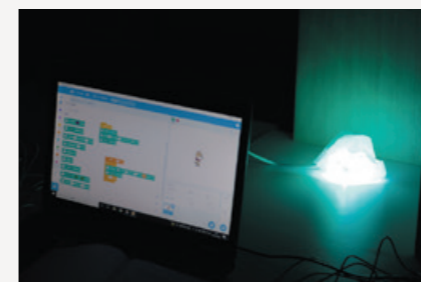
ものに才能を与える

MakeyMakey(プログラミングによって、シンプルな基盤に身近なものを繋ぐだけでそれ自体を楽器にできるツール)を使って、日常にある物と組み合わせて人が幸せになる「音を奏でるシステム」を制作。驚きや新たな発見を体験し、世界観を広げています。



光の対話型鑑賞

プログラミングでILLUMMEというPanasonicのIoT照明を光らせ、五感を使った空間デザインを制作・演出し、その空間の中で対話型鑑賞をします。(経済産業省STEAMLibrary実証授業校として掲載)



IMMERSION

Immersion の授業の紹介



英語で社会科（公共）を学ぶ

社会科の教員とネイティブ教員が担当し、海外のテキストを用いて英語でSDGsを学びます。授業では、学んだ内容に基づきサステナブルな街をデザインしてプレゼンしたり、架空の国を支援するプランを考えるなど、英語でアウトプットします。学年末には、1年間のリフレクションとして、3ページほどのエッセイを英語で書きました。



英語で家庭科を学ぶ

「世界のどこへ行っても生活する力を身につける」を目的に、持続可能な生活や環境、文化を考え、自分達の考えを英語でアウトプットしていく授業を展開しています。「食を通して海外の国・地域や異文化を知る」「食と環境や健康の関係を考える」といった、グローバルな視点を養い、自分の意見を英語でアウトプットしていきます。ほかにも、世界各地のコミュニティや家庭のあり方、フェアトレードや世界で生きていくための生活経済について学んでいます。

PROJECT

実施例の紹介

●現在進行中のプロジェクト

※以下のプロジェクトは常設ではありません。生徒の成長により目的を果たし、終了するものもあります。

宗教・文化

●目標＝聖書の思考方法を探究することで「神を仰ぎ 人に仕う」「Only One for Others」を体現する聖人を育成する。

【内容】キリスト教精神や宗教的な理念によって運営されている企業や団体の活動を研究・調査し、理論と実践について学ぶ。「自分とは何か」という永遠の問いに挑む。聖書の文化を理解し、現代社会への適用や融合を考え、文化的な軋轢に対して行動する。

起業・国際

●目標＝自分の限界を知り、一方で自分の限界の裾野を広げる小さな成功体験を積み上げ、創造社会を生きていく人財を目指す。

【内容】まず国内で、起業に必要な知識と経験を積み、資金を集め、商品をつくり、販売ルートを開く。さらにタイでも起業する。そしてその事業をタイの人たちに引き継いでもらう。これが現実の貧困問題に立ち向かうことに繋がるかどうかを検証する。

生活 × 環境

●目標＝生活・社会・環境課題を発見でき、私たちができる課題解決アクションや啓蒙活動を考案・実践・研究し、循環・共生社会実現を目指す人材を育成する。

【内容】生活に課題を抱える高齢者・子育て世代・外国人などの地域住民の生活がより豊かで幸せになるために、また持続可能な社会に向けた資源活用や環境保全のための生活を送るために、私たちができる課題解決アクションや啓蒙活動を考案し、実践・研究する。

哲学・メディア・芸術

●目標＝自己の内発的動機や、今ある世界への違和感から問いを「哲学」し、探究し、自己の外へ開く手段である「メディア」を求め、世界にまだない何かを創り出す「芸術」をする。

【内容】自己の関心領域、テーマを見定め「どうしたいか」を考える。3学年が連携し、お互いに教え、導き合い、対話する。個人々の領域や手段を掛け合わせて、どこに出すかを考えながら、表現活動を行う。

Student's view



2年(高入生)
三根 稔雄希くん

先輩、後輩、さらには保護者まで自分にやりたいことがあれば手助けしてくれる学校です。

GICにはプロジェクトという授業があり、僕はコスバの良い離乳食作りに取り組みました。子育てをしていた叔母から離乳食が意外と高くつくという話を聞いたことがあったからです。材料費を抑えるため、僕が考えたのは規格外野菜を使うということでした。規格外野菜とは、大きさや形が異なっているという理由で廃棄されてしまう野菜です。これにより子育ての支援もでき、フードロスも減らせます。最終的には調理会を開き、参加者に規格外野菜を使った離乳食作りを知ってもらうことができました。

プロジェクトを実現するために多くの人に助けられました。調理会の会場を提供してくれた方、調理を指導してくれた栄養士さん、農家をやっている後輩のご両親。そして、それらの人々を紹介してくれた先生や先輩、後輩。これだけ多くの人たちが自分の企画のために動いてくれて、そして本当にイベントが実現したということに感謝と驚きを覚えます。自分がやりたいことがあると、保護者まで含めたいろいろな人が積極的に関わってくれる、こういうところが聖学院らしさなのかなと思います。



3年
篠原 飛陽くん

英語で世界中の人と関われる、その楽しさが実感できる環境があります。

中学まで僕はあまり英語が得意ではありませんでした。自分からネイティブの先生に話しかけることも当然しませんでした。しかしGICに入ったら英語を多く使う機会が圧倒的に増えました。特にImmersionという授業は、オールイングリッシュで社会課題を学びます。英語ができないと自分の意見も言えません。まさに手段として必要なので、英語に対する僕の姿勢が変わりました。英語を勉強し直し、ネイティブの先生にも積極的に話しかけるようになりました。自分でも英語の基礎力がどんどん上がっていくのが実感できました。今では海外で問題なく会話ができる程度の英語力が身につきました。

英語ができると世界中の人と話ができるようになります。自分とは違う地域で生まれ、違う環境で育ってきた人たちと話すことで、新しい価値観や視点が見えてきます。それがとても楽しいですし、聖学院には実際に海外に行ってそういう体験ができる環境が整っています。



3年(高入生)
樋原 颯くん

自分が考えたことが、本当に誰かの助けになる。それを実感できる学びがあります。

僕はプロジェクトの授業で、子育て世代を支援する「お弁当づくりワークショップ」という企画を行いました。お弁当づくりを通して子育ての悩みや課題を解決していくワークショップです。実際に幼稚園で参加者を募り開催しました。本物の食材で調理をし、一緒に食べるところまで行いたかったのですが、新型コロナウイルスの関係で、紙などを使った工作でお弁当作りをする形になりました。僕は、食が人をつなげるツールになると考えています。親子で一緒にお弁当を作ることで、ご飯を食べる時とは異なったコミュニケーションが生まれるのではないかと思います。それがお母さんの子どもとのコミュニケーションにおける課題解決につながることを期待しています。また親同士でお弁当を作ることで、普段話づらい子育ての悩みも話しやすくなるのではないかと思います。参加者の「今度一緒に本物のお弁当を作ってみます」という言葉を聞いたり、嬉しそうに話をしている様子を見た時は、プロジェクトのやりがいを感じました。

2019～2023年度合格実績 (聖学院高校全体)

海外大学

Art Center College of Design
Augsburg College
Augustana College
Boston University
Carleton College
Fordham University
Grinnell College
Hope College
Lake Forest College
Lycoming College
North Central College

Ohio Wesleyan College
Syracuse University
Temple University
City University of New York
University of Southern California
University of Pennsylvania
University of Washington
University of California, Davis
University of California, San Diego
University of British Columbia
University of Toronto

Griffith University
Monash University
北京外国語大
国立成功大学
逢甲大学
義守大学
国立中央大学
国立台湾師範大学
中原大學
輔仁大学
東吳大学

世新大学
国立中山大学
東海大学
実践大学
国立中興大学
中國文化大学
中国医薬大学/薬
国立嘉義大学

□ [高等学校]オンライン型国際生(帰国生)入試 募集要項

試験日	2023年 11月11日(土)
出願期間	2023年 10月18日(水) 9:00 → 11月8日(水) 23:59
試験科目	英作文+面接(英語・日本語)
募集人員	オンライン型・来校型あわせて5名
合格発表	HP 面接翌日 12:00 ~
合格判定	Global Innovation Class
入学金支払期限	2024年 1月19日(金) 17:00
時間配分	問題公開時間 2023年11月11日(土) 9:00 (日本時間) 解答提出期限 2023年11月11日(土) 23:59 (日本時間)
	<p style="text-align: center;">英作文 (30分程度)</p> <p style="text-align: center;">面接期間 2023年11月13日(月)~11月25日(土)</p> <p style="text-align: center;">英語面接 ※英検準2級~2級レベル (20分程度)</p> <p style="text-align: center;">日本語面接 (10分程度)</p>

●出願方法

インターネット出願

●出願資格

- ①2024年3月に中学校卒業(卒業見込)または同等の学力を有する男子。
- ②原則として海外在住期間が1年以上、現海外在住者のみ。
※上記に準ずる海外在住経験等の条件を配慮いたします。事前にご相談ください。
※ご家庭の宗教によって入学資格・試験などの基準を制限することはありません。
- ③本校の教育理念に賛同する者

●受験料 24,000円

●必要な書類

提出書類	海外在留証明書(保護者勤務先発行)
提出期限	2023年11月8日(水)必着
提出方法	以下①②のいずれかを選択 ①簡易書留 ②メール(アドレス shiken@seigakuin.ed.jp) ②の場合は件名に【出願者氏名】【受験番号】を明記の上、添付して送信

●窓口取扱時間

月~土 9:00~16:30 ※日曜・祝日 その他学校の定める休校日は事務の取り扱いを行いません。

オンライン型・来校型の
W受験は不可

□ [高等学校]来校型国際生(帰国生)入試 募集要項

	A方式	B方式
試験日	2024年 1月22日(月)	
出願期間	2024年 1月15日(月) 9:00 → 1月19日(金) 16:00	
試験科目	英語筆記+面接(英語・日本語)	英語+思考力+面接(日本語)
募集人員	オンライン型・来校型あわせて5名	
合格発表	HP 当日 20:00 ~	
合格判定	Global Innovation Class	
入学金支払期限	2024年 2月16日(金) 17:00	
時間配分	受付 8:30~8:45	
	1時間目 英語 ※英検2級~準1級レベル (60分)	1時間目 英語 ※英検3級~準2級レベル (60分)
	2時間目 英語面接 (20分程度)	2時間目 思考力 (90分)
	日本語面接 (10分程度)	3時間目 日本語面接 (20分程度)

●出願方法

インターネット出願

●出願資格

- ①2024年3月に中学校卒業(卒業見込)または同等の学力を有する男子。
- ②原則として海外在住期間が1年以上、帰国後3年以内(現海外在住者を含む)。
※上記に準ずる海外在住経験等の条件を配慮いたします。事前にご相談ください。
※ご家庭の宗教によって入学資格・試験などの基準を制限することはありません。
- ③本校の教育理念に賛同する者

●受験料 24,000円

●必要な書類

提出書類	海外在留証明書(保護者勤務先発行)
提出期限	2024年1月19日(金)必着
提出方法	以下①②のいずれかを選択 ①簡易書留 ②メール(アドレス shiken@seigakuin.ed.jp) ②の場合は件名に【出願者氏名】【受験番号】を明記の上、添付して送信

●窓口取扱時間

月~土 9:00~16:30 ※日曜・祝日 その他学校の定める休校日は事務の取り扱いを行いません。

オンライン型・来校型の
W受験は不可

□ [高等学校] 推薦入試 募集要項

試験日	2024年 1月22日 (月)
出願期間	2024年 1月16日 (火) 9:00 → 1月19日 (金) 16:00
試験科目	適性検査 (2科) + 面接 適性検査 (英語・思考力) / 面接
募集人員	5名
合格発表	HP 当日 20:00 ~
合格判定	Global Innovation Class
入学手続き締切日	2月9日 (金) 17:00
時間配分	受付 8:30~8:45
	適性 (英語) ※英検3級~準2級レベル (60分程度)
	適性 (思考力) (90分程度)
	面接 (20分程度)

●出願方法

インターネット出願

●出願基準

- ①2024年3月に中学校卒業見込の生徒。本校の教育理念に賛同する者。
- ②内申点の合計が3教科 (英数国) で12以上、かつ5教科全てにおいて2以下がないこと。
- ③2学期制の場合は後期中間まで、3学期制の場合は第2学期までの成績で上記の要件を満たしていること。
- ④英検準2級は+1点、英検2級は+2点、英検準1級以上は+3点の加点を行う。
(TOEFL等のテストも加点しますのでご相談ください)
- ⑤推薦入試希望者は、2023年12月15日 (金) 以降に学校間による「入試相談」を要する。

●受験料 25,000円

●必要な書類

提出書類	調査書 (公立高校出願用)
提出期限	2024年1月19日 (金) 必着
提出方法	簡易書留

●窓口取扱時間

月~土 9:00~16:30 ※日曜・祝日 その他学校の定める休校日は事務の取り扱いを行いません。

□ [高等学校] 一般入試 募集要項

試験日	2024年 2月11日 (日)
出願期間	2024年 1月25日 (木) 9:00 → 2月7日 (水) 16:00
試験科目	英語+思考力+面接
募集人員	10名 (併願優遇措置5名)
合格発表	HP 当日 20:00 ~
合格判定	Global Innovation Class
入学手続き締切日	2月15日 (木) 17:00 (公立高校受験者を除く)
時間配分	受付 8:30~8:45
	1時間目 英語 ※英検3級~準2級レベル (60分)
	2時間目 思考力 (90分)
	3時間目 面接 (20分程度)

●出願方法

インターネット出願

※公立高校受験者で入学手続き延期を希望される方は、本校所定の「入学手続き延期願」を提出の上、出願してください。

●出願基準

- ①2024年3月に中学校卒業見込の生徒。本校の教育理念に賛同する者。

●併願優遇措置希望の方

- ①内申点の合計が3教科 (英数国) で12以上、かつ5教科全てにおいて2以下がないこと。
- ②2学期制の場合は後期中間まで、3学期制の場合は第2学期までの成績で上記の要件を満たしていること。
- ③英検準2級は+1点、英検2級は+2点、英検準1級以上は+3点の加点を行う。
(TOEFL等のテストも加点しますのでご相談ください)
- ④併願優遇措置希望者は、2023年12月15日 (金) 以降に学校間による「入試相談」を要する。

●受験料 25,000円

●必要な書類

提出書類	調査書 (公立高校出願用)
提出期限	2024年2月8日 (木) 必着
提出方法	簡易書留

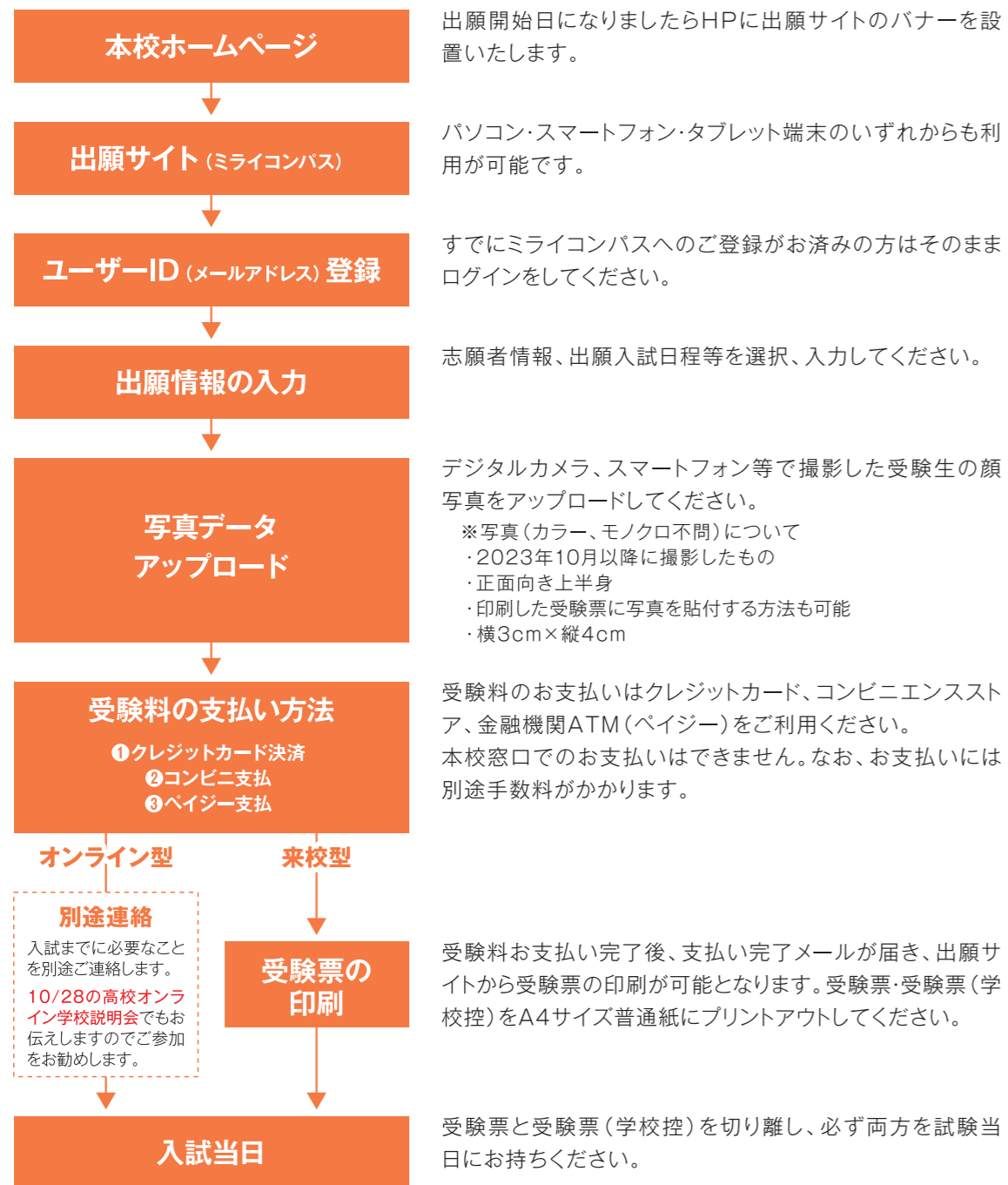
●窓口取扱時間

月~土 9:00~16:30 ※日曜・祝日 その他学校の定める休校日は事務の取り扱いを行いません。

インターネット出願について

- 本校窓口や郵送による出願は行っておりません。
- 期間中は平日・土日・祝日24時間手続きが可能です。
- 各種クレジットカード・コンビニエンスストア・ペイジーでのお支払いが選べます。
- 受験料お支払い後の出願内容の訂正、取り消し、返金は一切できませんのでご注意ください。**

出願手続きの方法



左記QRコードのサイトから詳細な手順確認ができます。
<https://www.mirai-compass.jp/net/nygk/>

来校型試験当日

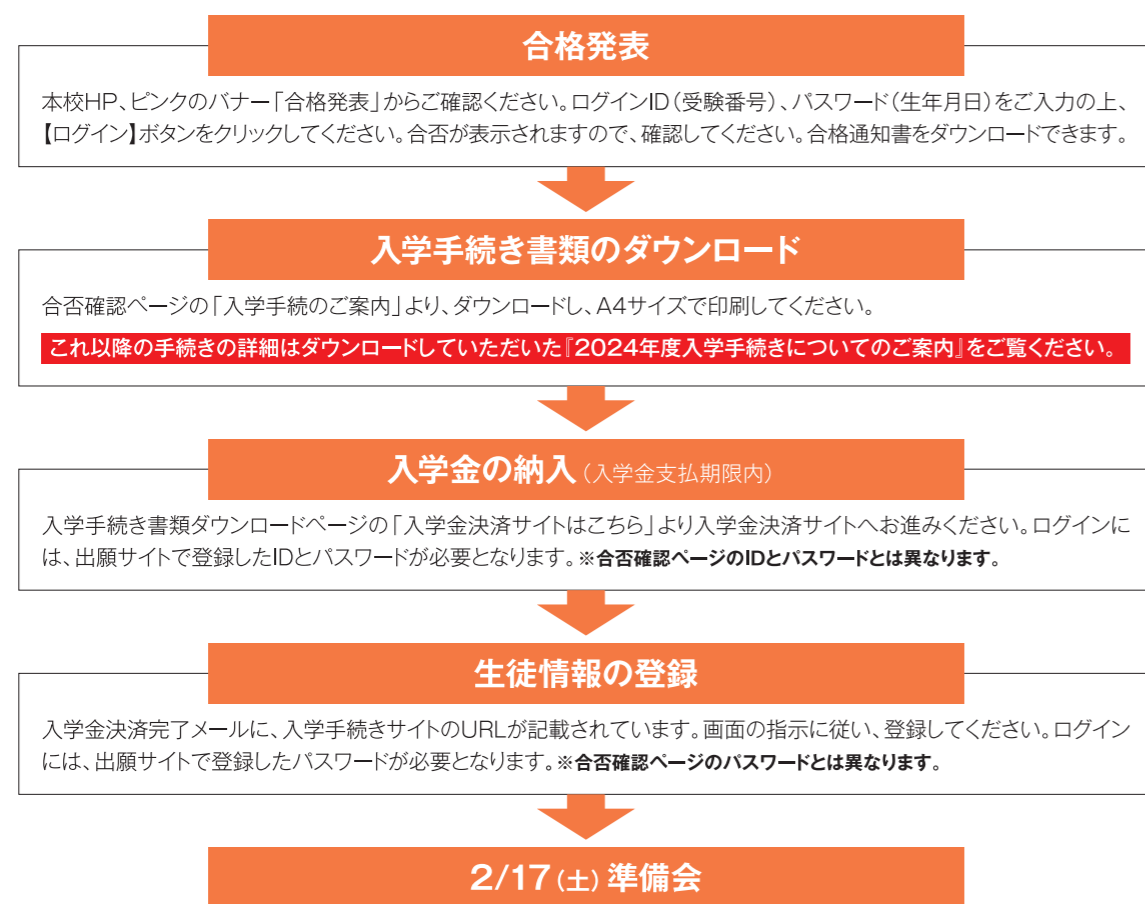
持ち物			
<input type="checkbox"/> 受験票と受験票(学校控え)	<input type="checkbox"/> 筆記用具	<input type="checkbox"/> うわばき	<input type="checkbox"/> くつ袋
受験上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> ●受験生はアナウンスの指示に従い、試験会場へ移動してください。 ●試験開始より15分までは遅刻入場可能です。但し、時間の延長はありません。 ●携帯電話、スマートフォン、通信機能付き時計等は電源を切り、カバンから出さないでください。 ●面接のある試験の終了時間は、順番によって変わります。 ●試験中にトイレへ行きたいときは、試験監督に手を上げて申し出てください。但し、試験時間の延長はありません。 ●試験中に体調不良になったときも、試験監督に手を上げて申し出てください。 			
保護者の方へ			
<ul style="list-style-type: none"> ●付き添われる場合は、試験終了後に、当日指定された場所で受験生と合流してお帰りください。 ●駐車場はございません。お車での来校やお迎えはお控えください。公共交通機関でのご来校をお願いします。 ●試験中の保護者控室は、当日ご案内いたします。 ●飲食される場合は食堂・食堂ラウンジをご利用ください。 ●ゴミは各自お持ち帰りください。 			
震災時・感染症対策対応			
<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な震災対応については本校HPでお知らせします。 ●地震によって電車が遅延が発生した場合は、試験の時間等を変更して対応する場合があります。 ●首都圏の交通機関等が大きく混乱した場合、東京と神奈川の私立学校との事前協定の通り、入試を全て中止し、終日試験日を繰り下げて実施します。 ●感染症対策の具体的内容は本校HPに掲載します。ご確認ください。 			

合否確認

本校HP、ピンクのバナー「合格発表」から合否照会サイトにログインID:受験番号4ケタ、パスワード:生年月日8ケタをご入力の上[ログイン]ボタンをクリックしてください。

- ※ミライコンパス出願サイトのIDとパスワードとは異なりますのでご注意ください。
- ※受験番号の「0」は省略せずに入力してください。
- ※誕生日が1ケタの場合は「0」を前につけてください。
- ※当日の状況により発表時間が遅れる場合があります。
- ※発表直後はアクセスが集中するため、一時的に接続しづらくなる場合があります。その際には少し時間をおいてから再度アクセスしてください。
- ※お電話でのお問い合わせには一切お答えできません。ご了承ください。

合格発表後の手続き手順



諸費用

入学手続き時	入学金	250,000円
	施設費	125,000円
	小計	375,000円
月額	授業料	37,000円
	施設拡充費	4,000円
	PTA会費特別会費	10,000円
	積立金・学年費(預り金)※	12,500円
	GIC費	7,000円
小計	70,500円	
毎年4月に発生する費用	PTA会費	7,200円
	生徒会費	7,700円
	後援会費	18,400円
	小計	33,300円

聖学院教育振興資金について

入学手続き時に1口100,000円、2口以上にご協力をいただけますと幸いです。(任意)

※積立金・学年費(預り金)について

副教材・模擬試験・文集作成・体験学習(教育旅行等)費・卒業対策費等が含まれます。変更になる場合もあります。

Global Innovation Classに関するQ&A

Q GICとレギュラー・アドバンスクラスとの違いは何ですか？

グローバルイノベーションクラス独自の科目が週13コマあります。イマージョン(3コマ)・STEAM(6コマ)・リベラルアーツ(2コマ)・プロジェクト(2コマ)の4科目で、探究型授業となります。残りの22コマはレギュラー・アドバンスクラスと同内容の授業となります。学校行事や宿泊型体験学習は共通のものとして行っています。現在、全学年全クラスにおいて1人1台端末をつかった授業・自宅学習を行っています。本クラスでは学校内使用のノートパソコン(MacBook)も活用し、STEAMの授業を中心に、各種アプリや3Dプリンタ等を使ったものづくり・ことづくりを行う機会が多く設定されています。また、イマージョンは週3時間オールイングリッシュの授業となります。英語“を”学ぶのではなく、英語“で”学び表現する時間となります。通常の英語が週6時間ありますので、9時間が英語に関する授業となります。また、プロジェクトでは、これまで学んできたことの集大成として、自分で研究テーマを設定し、研究・プロジェクト活動を実践していきます。

Q 英語力はどれくらい必要ですか？

英検準2級相当以上の英語力があることを推奨しています。ただ、英検3級相当でも本校の英語教育によって、成績は伸びますので、是非チャレンジしてみてください。

Q 思考力入試はどのような内容ですか？

本校では、2013年度入試より合計11回、中学入試において思考力入試を行ってまいりました。そのノウハウを応用し、高校入試用の問題を作成しています。出題内容はSDGsや世界で起こっている問題について、自分なりに情報収集をし、課題解決・価値創造を文章表現していく入試となります。面接においては、受験生の賜物(才能・タレント)を発見できるように、解答内容について深掘りするために質問させていただきます。

Q 面接で聞かれることはどんなことですか？

本校への志望動機、本校で学習・活動したいこと、中学での印象的だった経験、自分の強みや好きなことなどを総合的に質問します。上記の思考力入試での解答内容についても質問します。

Q 事前相談などは必要ですか？

推薦入試や併願優遇措置を利用される方は、本校の学校説明会へ11月末までに参加していただき、本校担当者や個別相談をしていただくことが望ましいです。事前に学校の成績等をお持ちいただき、本校担当者に確認をとるようにしてください。また、現在通っている中学校の先生に本校の推薦入試や併願優遇措置を利用する旨を必ずお伝えください。8月以降の学校説明会・校内見学会では高校入試事前相談コーナーを設置しますのでご利用ください。

●入試科目について

[思考力]

聖学院では、「社会課題の自分事化」「思考力・表現力・主体性・協働性」が世界の課題解決には不可欠であると考えています。そのために国数理社を中心に教科の総合的な力を評価するための入試「思考力入試」を実施しています。Global Innovation Classで大切にしたい力を「思考力入試」に取り入れています。

特に、右記の点を評価しています。

- 社会課題を自分事としてとらえる力
- 情報を読み取る力、聴き取る力
- 比較・分類する力
- 自分なりに課題を発見・設定する力
- アイデアをたくさん出す力
- 文章として表現する力(作文・プレゼンテーション)

※句読点や誤字は減点しません。

[英語(推薦・一般ともに)]

Global Innovation Classでは世界で活躍する人財の育成を目指しています。授業では、英語6時間と「Immersion」3時間、合計9時間を英語で学びます。したがって、英検準2級程度の英語力が必要となるために、入試問題も英検3級～準2級程度のレベルで設定しています。特に、Readingのテーマに対する自由英作文を課しており、自分の英語で表現する力を大切にしています。

※英作文の細かいミスは減点しません。

システム・操作に関するお問い合わせ先

ミライコンパスサポートセンター

<https://www.mirai-compass.jp.net/nygk/>

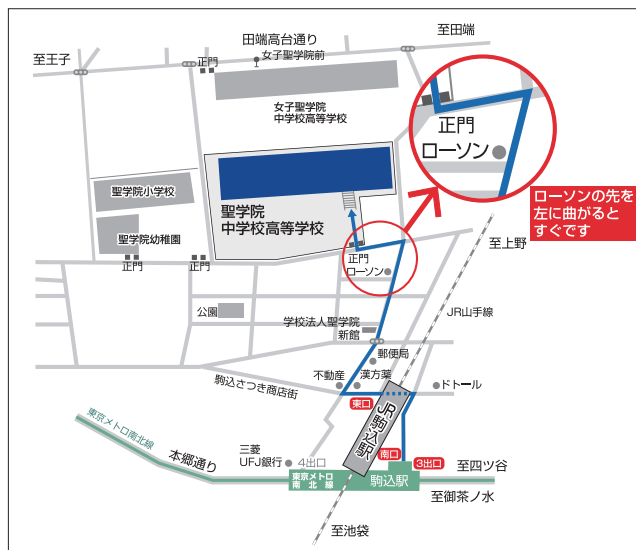
Tel 0120-907-867 Tel 03-5877-5952 [24時間受付]

お問合せ対象の ①コード:(0195) 聖学院中学校 ②氏名 を伝えてください。

説明会情報

7月 15日(土)	レゴキング選手権/学校説明会・体験会③[来校型]
7月 29日(土)	オンライン学校説明会②
8月 26日(土)	学校説明会・体験会④[来校型] 高校入試相談あり
9月 2日(土)	高校 オンライン学校説明会①
9月 9日(土)	校内見学会①[来校型]
9月 16日(土)	学校説明会・体験会⑤[来校型] 高校入試相談あり
10月 7日(土)	校内見学会②[来校型]
10月 14日(土)	国際生オンライン入試説明会
10月 21日(土)	学校説明会・体験会⑥[来校型] 高校入試相談あり
10月 28日(土)	高校 オンライン学校説明会②
11月 11日(土)	校内見学会③[来校型]
11月 17日(金)	オンライン学校説明会③(イブニング)
11月 25日(土)	入試対策説明会①[来校型] 高校入試相談あり
12月 23日(土)	入試対策説明会②[来校型]
1月 13日(土)	入試対策説明会③[来校型]
3月 2日(土)	学校説明会・体験会(プレ)[来校型]

※開催内容を変更する場合がございます。詳細はホームページをご確認ください。



- access
JR山手線 駒込駅 東口 徒歩5分
東京メトロ南北線 駒込駅 3出口 徒歩7分



聖学院 中学校
高等学校

お問い合わせ先 入試広報部
Tel 03-3917-1121 (代表)
(月～土 9:00～16:30)

<https://www.seigakuin.ed.jp/>
〒114-8502 東京都北区中里3-12-1
Fax 03-3917-1438

